

られる機会が好評であった。毎年はやらないのか。

A 昨年度は白神ラム10周年の節目と
いうことで、シエフを外部から呼
ぶなど、特別な対応をしましたが、毎年
開催ということではありません。

Q 白神山地ワインと一緒に白神ラム
を堪能できることは（アピールに
も）良い機会だと思うので、今後も前向
きに検討してもらえれば。

A 記念の年ということで、町議会に
お願いをして特別に予算をつけて
いただいたものであり、これがないとお
客様の自己負担が大きくなってしまつた
め、毎年はなかなか開催できないと考
えています。

Q 森林環境譲与税の活用についてと
今後のスケジュール見直しについ
てはどうか。

A 6年度については境界明確化事業
を大沢地区で実施しており、現地
確認を終え、森林組合が実測すること
としています。昨年度分については意向確
認を終えています。

Q（相続などで）境界が分からなく不
安感を持っている方が多くなつて
きたこともあり、タイムリーな事業だと
思っている。

A 森林組合からも、藤里町の境界明
確化事業は所有者等の関心度が高
いと伺っています。今年度行っている院
内沢は特に一団地にまとまっております。
事業がやりやすいこともあると思います。

Q 白神山地ワインについて、多くの
在庫があると聞いたが、どうなの
か。

A 町が企画したワインについて醸造
をアルビオン白神研究所が受託し
ており、2021年産は完売し、現在は
2022年産を販売しています。町の酒
類販売者協会と連携して販売を行つてお
り、町外の限定した販売店にもまとま
つた数が販売される予定となっています。

Q 白神山地ワインは飲みやすいと町
内外の評判も非常に良く、町でも
バックアップしてキャンペーンやPRな
どを行つてほしい。

A 酒類販売者協会やアルビオン白神
研究所とも情報共有を図りながら
進めていく考えです。

Q 旧藤里中学校の利活用について、
現在の状況はどうか。

A 貸し出し等を検討していましたが、
学校としての価値が残っており、
一般の利用に供するとなると難しい面が
あります。議会の承認を経ての無償貸付
は可能なことから、一部、アルビオン白

神研究所に倉庫として貸し出すことにし
ました。体育館等は教育委員会で使用で
きるようにしています。

Q 陸上部の冬場の練習場にも使えれ
ばよいのかなと思うがどうか。

A スポ少側から距離的に遠いとい
うことと、逆に校舎の廊下を借りた
いということを言われましたが、校舎側
は遠慮いただきました。



【藤琴地区・2名】

Q 人がいないということとは深刻な問
題である。移住・定住の取組みあ
るのもわかるが、不特定多数を対象とす
るよりも、出身者のUターンとして、田
舎で余生をすごすという取組みができ
ないか。

A 在京藤里会とは定期的に交流して
おり、二地域居住でもよいので藤

里町との繋がりを継続してほしいとお願
いしています。先日都内で開催された役
員会に同席し、来年3月23日に東京都内
で開催される「ふるさとの集い」に多く
の方々をお誘いいたたくようお願いして
きたところでありました。また、若い世代
との繋がりも含めて、今後の展開につ
いて検討していきたいと考えています。

Q 在京藤里会の開催時期について、
年度末で忙しい時期であるため、
他の時期にできないものか。

A 「ふるさとの集い」に関しては、あ
くまで在京藤里会が主体となり開
催しているものであるため、こちらが設
定するものではないことをご理解いた
だきたいと思えます。

Q 白神山地の麓の町として、ごみの
分別について見直しをする予定は
ないか。イメージ向上にも繋がるのでは
ないか。

A 今後、検討していくことといたし
ます。

Q 小坂町は「ごみステーション」があり、
町民がいつでもごみを持ち込んで
細かく分別している。全国には先進的な
事例もあり、藤里町もそのような取組み
をしてはどうか。

A 先進事例について情報を収集し、
研究してみたいと思います。